

地域連携の深化をめざす「おおみねット」の推進

【美祢市 大嶺中学校区】

地域の概要

大嶺地区は、市役所、警察署、消防署、市民会館の他、銀行やJA等の官民の主要施設が集中している美祢市の中心地域です。北部には工業団地やニュータウンが開発され、地域の活性化と市民の定住が促進されています。

しかし、地域が広く、周辺部の小学校では、複式の学級を編成しています。住民の教育に対する関心は高く、学校への協力・支援も積極的に行われています。

人口	8,543人	
世帯数	3,722世帯	
対象校及び 児童生徒数	大嶺中学校	213人
	大嶺小学校	395人
	重安小学校	23人
	麦川小学校	37人
	城原小学校	18人

組織の内容

大嶺地区は、昨年度から大嶺中学校が事務局となり、地域協育ネット協議会を立ち上げました。

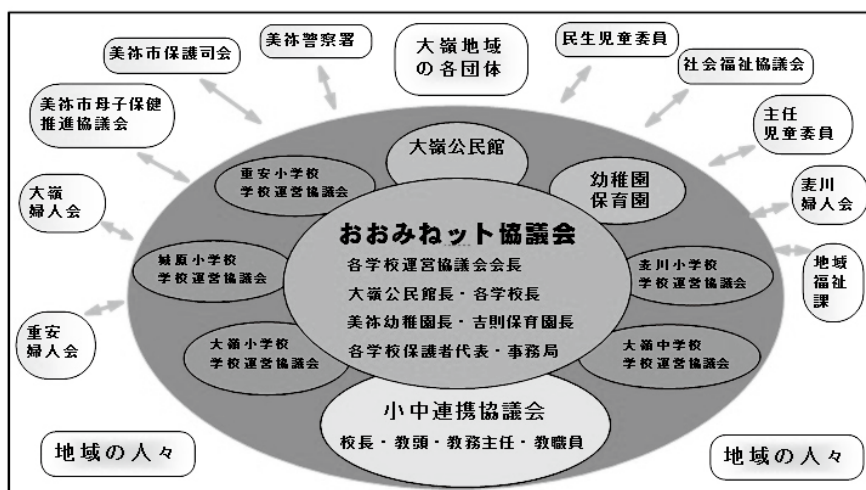
今年度は、「地域協育ネット」がより充実した取組になるように、「規約づくり」、「組織づくり」及び「共通テーマづくり」に重点を置いて活動を推進してきました。

その結果、会議の名称を

「おおみねット協議会」とすることや活動の目的、役員等も明確になり、推進体制が整いました。

「おおみねット協議会」は、上の図に示すとおり、各学校の学校運営協議会会長を中心に、各学校長、公民館長、幼稚園長、保育所長、保護者代表等で構成されています。また、大嶺中学校区内には、四つの小学校があるため、学校間の連携をより密接なものにするために「小中連携協議会」という組織があります。この組織と連携することで、「おおみねット協議会」での決定事項を、各小・中学校においてスムーズに実行に移すことができるようにしています。

「おおみねット」構想図



特色・重点的な取組

今年度、新たに「元気で笑顔であいさつができる子どもを育てよう」という共通テーマを設定しました。第2回の「おおみねット協議会」では、各学校で既に取り組んでいるあいさつ運動について共通理解をした上で、全ての学校で共通に行える取組はないか、「おおみねット」として実際に行うことができるかについて協議を行いました。今後は、各学校で既に取り組んでいる活動に目を向けて、共通して行える部分は共通して行うようにするなど、今あるものを生かしながら、できるだけ大きな効果が得られるようにしていきたいと考えています。

主な活動の紹介

学習支援活動



ようこそ！先輩

小学校の卒業生を招いて、夢や希望をもつことの大切さを話していただきました。



家庭科学習（裁縫指導）

家庭科の時間に、地域の方が裁縫指導のお手伝いをしてくださいました。



職場体験学習

校区内の幼稚園や保育所、事業所等で、中学2年生が職場体験学習を行いました。

交流活動



秋のおもちゃランド

幼稚園・保育園児を招待して、手作りのおもちゃで交流した後、給食を食べました。



ペタンク大会

未就学児からお年寄りの方まで幅広い世代の方が参加してペタンクを楽しみました。



元気体操

運動会では、コミュニティ・ソングをもとにした元気体操で、楽しく体を動かしました。

地域貢献奉仕活動



ありがとう作戦

自治会の方と一緒に地域の公会堂周辺や通学路などの清掃活動を行いました。



「さくらまつり」参加

中学生が、商品販売の手伝いや会場内のゴミ拾い等の活動を行いました。



菊の栽培

5・6年生の児童が、地域の方の指導のもとキクを育て、駅や郵便局に飾りました。

成果と課題

各小・中学校では、それぞれの地域の実情を考慮しながら、地域の特色を生かした教育活動を行っています。活動は主として「学習支援活動」、「交流活動」、「地域貢献奉仕活動」の三つです。これらの活動を継続的に行うことで、地域の方と連携した活動が定着してきました。最近では、地域の方から活動支援への申し出の声が上がることもあり、学校と地域とが協働して子どもを支えていこうとする意識が育ちつつあるように感じます。

しかし、いつも活動に参加してくださる方が同じこともあり、活動の輪が地域全体になかなか広がらないという現状もあります。地域の高齢化や過疎化が進む中で、どのようにして学校と連携・協働していただける方を増やしていくかということが大きな課題です。

今後の取組

「おおみねット協議会」において協議を重ねていくことで、取組の方向性がより具体的になってきました。今後は、「おおみねット」の取組を地域にわかりやすく発信し、様々な行事等に関わる地域住民の輪を広げていき、更に充実した取組が実践できるようにしていきたいと考えています。